

# 小平町立小平小学校 1 日防災学校実施報告

## ● 小平町立小平小学校のコンセプト

「自らの的確な判断のもとで、防災・減災行動を取ることができる自立性と自然災害に対して、想定される災害イメージを持ち、具体的な対策を考えることができる情報活用力・創造性」を育む。

## ● 時間割

1 時限 避難訓練・防災〇×クイズ・防災講話（全校生徒：行事）

2 時限 防災倉庫見学（6年：社会）

3 時限 災害車両・携行品見学（5年：社会）

4 時限 災害車両・携行品見学（1年：国語、4年社会）

災害食づくり(6年：家庭)

5 時限 北海 Do 防災かるた（1年：特別活動）

6 時限 新聞紙スリッパづくり(2・3年：図工)

## 〔連携・協力〕

陸上自衛隊、留萌警察署、留萌消防組合、留萌振興局、小平町役場

① 災害車両展示



② 防災倉庫見学



③ 災害食づくり



④ 新聞紙スリッパ



## 第2回 避難訓練実施計画案（地震と津波を想定）

総務・統括

### 今回の避難訓練のポイント

- 地震が発生してから、津波来襲まで20分を想定。
- 地域防災マップに基づき、小平中学校を避難場所とする。体育館に速やかに整列。
- 各自待機後、担任の指示の基、学年毎に避難する。6年生は1年生の手を引き避難。

### 1. ねらい

◎災害発生時を想定し、児童が常に安全に避難できるよう、実践的な態度や能力を身に付ける。

#### 【ねらい達成のための工夫】

→事前指導を行う中で、校内の様々な場所における安全な避難の仕方を指導するとともに、児童自ら考えさせる機会を設ける。

◎地域の関係機関と連携し訓練を行うことにより、児童の防災に関する意識の向上を図る。

#### 【ねらい達成のための工夫】

→警察の方からの講評や道地域防災マネージャー等の話をしっかり聴くよう指導するとともに、事後指導においても再度内容を確認し、防災に対する意識を高める。

### 2. 災害の想定

7月17日（火）午前8時40分、日本海沖で、マグニチュード6の地震が発生（震度6）。地震による強い揺れが起きていることと日本海沿岸に、大津波警報が発令されたことを想定。

### 3. 日 時

平成30年7月17日（火） 8：40～9：25（雨天の場合も実施・傘やカッパ等で避難）

### 4. 避難場所 小平町立小平中学校 体育館

### 5. 避難経路 各学年ごとに、小平中学校へ移動（中学校までの経路についてはこれまで同様のコース）

### 6. 実施内容

#### (1) 事前指導

実施期日については事前に周知する。地震・津波発生を想定した避難訓練を実施することを知らせる。朝の会・帰りの会・学級活動の時間等を活用し、事前指導を行う。

#### 【指導内容】

- ① 避難訓練の意義について理解を図る。
- ② 地震、津波の恐ろしさについて理解を図る。
  - ・落下物、倒壊物、ガラス、地割れ、火気、ガス等への注意
  - ・津波による被害
- ③ 学校にいて地震が発生した場合の避難の方法と守ることの理解を図る。  
※安全な場所への避難

- ①教室等近くに机がある場合→机の下に入り、机の脚を対角線上に持つ。
  - ②廊下等の場合→落下物や窓ガラスが頭上にあることを確認し、壁側に座る。
  - ③体育館の場合→落下物が落下してこない壁側に座る。
  - ④グラウンドや屋外の場合→できるだけ校舎や遊具、ブロック等から離れ、しゃがむ。  
※頭を保護する物があれば、使用する。・・・これを基本に各学級で指導する。

※揺れが止まってからの児童玄関前への移動

- ④ 中学校までの避難経路の確認

(2) 避難訓練（本時）

| 指 導 内 容                                                                           | 留 意 点 ・ 備 考                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①災害の種類・想定（地震，津波）</p> <p>②地震発生の場合（非常ベル）</p> <p>③避難開始</p> <p>④避難完了・講評（進行：教頭）</p> | <p>●7月17日，午前8時40分頃，日本海沖でマグニチュード6の地震が発生。</p> <p>●防災ベルと放送（教頭）<br/>「ただ今地震が発生しました。児童の皆さんは机の下に避難し，揺れがおさまるまで待っていてください。」（繰り返す）<br/>※ベルと同時に，各自机の下に入る。津波警報を30秒間放送する。<br/>「地震がおさまりました。津波のおそれがあるため，中学校への避難を開始します。児童のみなさんは，児童玄関前に学年ごとに整列し，先生の指示に従って避難してください。」（繰り返す）<br/>※放送後，児童玄関前集合。</p> <p>●学級毎に避難する。<br/>※交通安全に注意する。<br/>～警察署，消防署，役場には事前に連絡</p> <p>●小平中体育館入り口より入り，体育館に全校朝会の形で整列<br/>●人員の掌握と報告（担任→校長）<br/>①避難タイムの発表（教頭）<br/>②留萌警察署の方のお話<br/>③〇×クイズ・CM放送<br/>④町ハザードマップの紹介<br/>⑤お礼の言葉（児童会長の発声を合図に）<br/>お話をいただいた方の方を向いて</p> |
|                                                                                   | <p>・先生方は，朝の会同様の場所にいる。</p> <p>・避難口確保。ドアを開ける。</p> <p>・校舎外の点検（奥山）</p> <p>・先生方は整列させ、引率・避難する</p> <p>・放送終了後，ストップウォッチの始動（教頭）</p> <p>・靴は履き替えない</p> <p>・学年で人数確認をしてから，避難行動を開始。児童玄関から出たら学年ごとに小平中へ向かう。（6年生は1年生と一緒に向かう）</p> <p>・校舎残留児童を確認<br/>（2階 教頭・室本<br/>1階 山田・田辺）</p> <p>※小平中体育館使用<br/>※上靴は使用しない<br/>※奥山さんは学校に待機して，靴を洗う雑巾の準備</p>                                                                                                                                                                                        |

7. 評 価

- （1）一人一人の児童が自他の生命の安全確保について真剣に考えることができたか。
- （2）的確な避難行動ができたか。（避難行動開始まで・避難中・避難後）
- （3）防災意識の向上を図ることができたか。（事後指導）

8. 事後指導

7の評価項目に合わせて，児童自身に避難行動について振り返りをさせる。

## 9. 分担業務

児童の安全な避難誘導を第一とし、避難誘導後、担任は児童の状況を本部長に報告し、担当につく。

|                  | 業務名                | 担 当 者             | 内 容                                           |
|------------------|--------------------|-------------------|-----------------------------------------------|
| 業<br>務<br>分<br>担 | 本部長                | 校長                | 全体指揮                                          |
|                  | 統括班                | 教頭                | 地震・津波情報の把握、本部長へ報告<br>サイレン、緊急避難通報発令、避難場所での全体進行 |
|                  | 安否確認<br>・避難誘<br>導班 | 各担任<br>西野（生徒指導）   | 児童の誘導及び避難場所での掌握<br>避難場所での指導                   |
|                  | 避難確認<br>班          | 教頭，山田<br>室本，田辺，奥山 | ・ 残留児童の再確認<br>・ 全員避難の確認及び要救助児童への対応，校舎外の連絡     |
|                  | 救 護 班              | 田辺・（笹嶋）           | 救急処置，救護                                       |
|                  | 計 時                | 教頭                | 緊急放送終了から避難誘導終了までの時間を計る                        |
| 準<br>備           | ストップウォッチ（教頭）       |                   |                                               |